

# 管理所レビュー VOL.01

(R3.4.22 水源林管理所)

令和3年度の第1回ボランティア活動が、4月3日(土)に予定どおり実施されました。

当日は活動に先駆けて、道志水源林ボランティアの会の村居理事長と小川新水源林管理所長、9年間在籍した温井前水源林管理所長からのあいさつを受け、待ちに待った活動再開となりました。

今年度は、依然として収束しない新型コロナウイルスの影響から、活動回数13回・定員38名に縮小した形での活動実施となりますが、今後もマスク着用や手指消毒などの感染拡大防止対策にご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

また、繰り返しになりますが、間伐作業は大変危険を伴う作業です。今年も基本的に忠実に安全第一を心掛けた作業をよろしくお願いいたします。

それでは、安全活動のための水源林管理所の振返りなどをお知らせします。

## 1 活動当日の様子



村居理事長のあいさつ。



小川新水源林管理所長のあいさつ。



温井前水源林管理所長のあいさつ。



37名の参加者。



準備体操をしっかりと！



例年より20日ほど早く開花した桜とミツバツツジ。



獣害防除ネットに注意！



重い木の移動は十分注意を！



斜面での作業は足場を固めて！



状態を見極め、下から切ります。

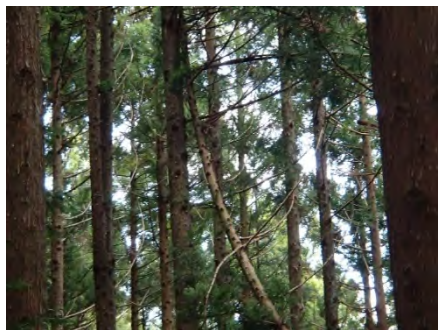


切り残し部分(ツル)が機能した状態。



作業の終了時には山にあいさつ。

## 2 かかり木の安全な処理方法



かかり木が発生した状態①



かかり木が発生した状態②

今回は久しぶりの間伐作業のためか伐倒木が、かかり木になったケースが多く見られました。

**かかり木の処理は、伐倒作業の中で最も危険な作業の一つです。**

まずは、かかり木にならないように周囲の状況をしっかり確認し、安全な伐倒方向を選定することが重要になります。しかし、どんなに注意していても、かかり木になってしまうことがあります。そんな時は、下記の安全な処理方法を参考に処理してください。

### ◆かかり木の安全な処理方法

〔例1〕横方向からロープを引く。

まずは、かかり木と、かかられている木の状態をよく確認してロープを引く方向を決めます。次にロープを引く方向を変えるために滑車からロープをはずし、横方向から直接ロープを引いてかかり木をはずします。

**※滑車からロープをはずす時は、かかり木が外れて落ちてくる危険があるため、かかり木の下には絶対入らないように十分注意してください。**

また、ロープを引く場所の安全確認も行ってください。

〔例2〕木回しベルトを使用する。

この方法もまずは、かかり木と、かかられている木の状態を確認し、回す方向を決めます。次にベルトをしっかり和根元近くに巻付け、小径木を使って押すように回転させることでかかり木をはずします。

**受け口と追い口の間の切り残し部分（ツル）は、ある程度残しておく、必要に応じて切り込みましょう。**

**※木回しベルトの使用には、長さ1.5mから2m程度、太さ10cm程度のしっかりした小径木が必要です。（写真参照）**

**※セッティング方法は事前に確認しておいてください。**



木回しベルトと小径木のセッティングの様子

### ◆主な禁止事項（危険行為）

(1) かかり木に、かかられている立木の伐倒（図1）

かかり木の落下による激突で、死亡災害も発生しています。

(2) かかり木を外すために別の立木を切って激突させる（図2）

二重三重のかかり木を発生させ、更に危険な状態にします。

図1

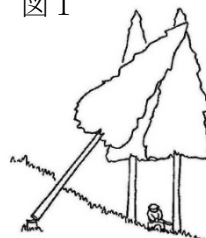


図2



「林業・木材製造業労働災害防止協会発行林材安全」より一部抜粋

## 3 活動中止のお知らせ

4月3日は、道志水源林ボランティアの活動を再開することができましたが、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて4月20日から5月11日まで、神奈川県を含む4つの県に「まん延防止等重点措置」が適用されたため、次の活動日となる4月23日及び5月7日の活動は中止と決定しましたので、お知らせします。

**★それでは次回5月22日、気をつけてお越しください。**